

## 第41期 第5回常任幹事会報告

日時 2011年4月28日(木) 13:30~16:00

場所 東京労働会館5階会議室

出欠席(敬称略): 竹崎、高畠、高木、南條、堀口、田川、福井、前沢、寺川、影山、民谷、相川、木村、深沢、西銘、金澤、斎藤、杉山、植松、北川、河内、市橋、酒井、秦、坂本、西川、吉野、岡本、入山、岸田、中村、(品川社保協) 19/32 (下線は欠席)  
議長: 田川副会長

※東京土建より松尾慎一郎さんから北川誠太郎さんに常任幹事の変更がありました。

13:30~14:30 学習: 「原発問題について」

原発問題住民運動東京連絡センター 宮崎 秀夫さん

はじめに、3・11震災から49日の黙祷を行い竹崎会長からあいさつを受けた。内容は、以下のとおり。「大震災後、日本国民はうつ状態に。日光などでは観光客が減少し、うかれてはならないとの風潮がある。被災者の大変な状況に支援が広がる一方で、「がんばろう日本」のスローガンに代表される国民の意識をひとつの方向へ誘導しようとする動きがある。戦前の大政翼賛会的な方向へもっていこうとしている動きを、厳しく見ていかなければならない。今日は49日目、救援活動に力を入れるとともに、どう復興させていくか、日本の政治のあり方を考えていかなければならない。「日本人は冷静で、団結して乗り切っている」と言われるが、まがりなりにも国民皆保険体制があり、65年間社会保障制度を積み上げてきた安心感が、国民の一定の落ち着きとなっているのである。今ほど、この社会保障制度を守り発展させることが重要なときはない。消費税の増税や保険料の引き上げを許さない運動が重要である。この時期に乗じて、変な方向へ誘導されないように、新たなたたかいの一歩をすすめよう。」

### <報告事項>

#### 1、以下の日程にそって活動報告を受けた。(資料あり)

##### 3月

- 26日(土) 11:00~東京土建新宿支部主婦の会学習会(寺川)  
18:00~東京保険医協会レセプション(福井・前沢)
- 27日(日) 13:30~東京大気裁判連絡会総会→メッセージ

##### 4月

- 4日(月) 13:00~「都内への被災者受け入れと原発事故対応」緊急要請  
(都知事・総務局総合防災部・各会派) 資料①~②
- 6日(水) 14:00~中央社保協運営委員会
- 10日(日) 東京都知事選投票日 東京都知事選挙について 社保協ニュース参照
- 11日(月) 11:00~東京生存権裁判最高裁要請行動  
18:30~特別シンポ「東日本大震災・福島原発から1カ月 原発・核兵器 私たちの未来」 原水爆禁止日本協議会
- 12日(火) 13:00~国保部会  
15:30~学習会「震災問題等の労働・生活相談の進め方」
- 13日(水) 国保パンフ学習会(年金者組合都本部・東京民医連看護委員会)

- 12:15～国会議員会館前行動 250人、11万筆署名
- 17日(日) いっせい地方選挙告示
- 18日(月) 16:00～安心年金東京の会
- 19日(火) 13:30～東京生存権裁判支える会幹事会
- 22日(金) 10:00～介護をよくする東京の会事務局会議
- 24日(日) いっせい地方選挙後半戦投票日
- 26日(火) 15:30～消費税廃止東京各界連絡会  
19:00～介護保険学習会 講師：芝田英昭教授
- 27日(水) 13:30～国会議員要請行動(衆議院第1大会議室)
- 28日(木) 10:00～第9回自治研相談会(2012年6月～7月を予定)  
13:30～第5回常任幹事会  
18:00～地域社保協交流集会

## 2、中央社保協、地域社保協の取り組みなど以下の内容の報告を受け、確認した。

- 1) 中央社保協第10回運営委員会 4月6日(水)
- ・中央社保協第55回総会について 資料：③～④  
日時 2011年6月12日(日) 13:30開会  
～13日(月) 12:00終了  
会場 熱海 ホテル「池田」
- 2) 西多摩社保協 4月から檜原村で75歳以上の医療費の窓口負担の半額を助成
- 3) 国保算定方式変更の説明会の開催  
中野社保協：5月9日～21日までに5カ所で開催 資料：⑤～⑥
- 4) 各地域で震災・原発問題で自治体要請・相談会など 資料：⑦～⑨  
荒川区では、3月29日の「緊急要望」に応じて「防災メール配信サービスを早急に実施すること」が実現。荒川社保協FAX通信 資料：⑩～⑪

## 3、各部会・共闘団体報告の取り組みについての報告を受け、確認した。

- 1) 介護をよくする東京の会 4月22日(金) 事務局会議
- ①第3回総会・「2011介護フォーラム」 資料：⑫  
日時 5月28日(土) 12:30～16:00  
場所 ラパスホール
- ②被災地から避難している要介護者の対応について、東京都と各自治体の実態を把握し、従来どおりのサービスを受けられるよう要請する。
- ③4月26日(火) 19:00～介護保険学習会「制度『改正』の真の狙いは？」
- 2) 医療部会 4月12日(火) 国保問題を中心に論議した。
- ①国保ハンドブックの普及状況 資料：⑬  
合計 19,463部 15地域社保協と12団体
- ②国保ハンドブックの増刷  
引き続き地域社保協を中心にハンドブックの普及と学習会開催を推進する。現在の在庫が約300部のため、3,000部を増刷。
- 3) 消費税廃止東京連絡会 4月26日(火) 事務局会議  
消費税廃止各界連学習決起集会 5月11日(水) 13:00～16:30 資料：⑭  
場所 衆議院第一議員会館・大ホール
- 4) 安心年金ネット 4月18日(月) 事務局会議

- ①人事院の公開口頭審理への傍聴を 5月9～11日、5月31日～6月2日
- ②国家公務員制度改革基本法等に基づく改革について

#### 5) 生存権裁判を支える東京連絡会 4月19日(火) 幹事会

- ①4月11日 第4回最高裁要請(50人参加、署名4,053筆提出)
- ②全国連絡会第5回総会&シンポジウム 5月28日(土) 13:00～16:30  
—「大災害からの復興と人間らしく生きる権利の保障を」をテーマにシンポジウムを行う。大災害で生活保護の受給が増える状況のもとで、更なる充実が必要なのに、『生活保護の引き下げや有期にすること』が強行されようとしている。首都東京の運動の強化が求められている。—

- ③第5回最高裁要請 5月16日(月) 11:00 へ署名の推進を **資料：⑮**  
—毎回1万筆署名の提出を目標にしている。4月は、4千筆であったので1万を超える署名へと広げよう。特に、取り組みの弱い地域で強めよう。—

#### 6) 子どもを貧困と格差から守る連絡会議

- ①シンポジウム「被災地から来た子どもとともに一学校を安全と安心の根拠地に」  
日時・場所 5月26日(木) 18:30～21:00 エデュカス東京 7階会議室  
主催 都教組・都障教組・「子どもを貧困から守る」連絡会 **資料：⑯**  
—被災地から公立校へ転校してきた小・中・高校生は、1000人を超える。福島県からの転校が多い。さらに増える見込みである。子どもたちだけで避難している例もあり、「どう受け入れるか。心のケアは？」など埼玉県でスクールカウンセラーをしている臨床心理士の話を中心に交流する。

#### 4、財政について、3月度決算と2011年度会費納入報告を受け、確認した。

- 1) 3月度決算報告 **資料：⑰～⑳**
- 2) 2011年度会費納入 3月末現在納入額773万2千円(納入率81.7%)、納入団体数54団体(納入団体率78.3%)

#### <協議事項>

1、情勢について、資料に基づき報告を受け討論で深めた。ポイントは以下のとおり。原発問題については、学習会で深めた。(略)

- 1) 震災関連と国会の動き(6月22日会期末)

#### <財界の動き>

- ①経済同友会の記者会見(3月29日)「復興支援は、第一義的課題としつつも、TPP推進、税と社会保障の一体改革を滞りなく行え」と要望。翌日には、「医療・福祉ビジネスの発展を」という提言を発表。
- ②日本経団連は「震災復興に向けた緊急提言」を発表(3月31日)「全国民の一致団結」や「政府における強力な指導命令権を持った指令塔の確立」を提起し、大連立を後押しするとともに、「道州制も視野に入れた自治体間協議の促進」や「中長期的な財政健全化方針の堅持と復興のためのコスト負担に係わる国民的合意形成」など構造改革路線の堅持を求める。

#### <税と社会保障一体改革→大震災よそにすすむ「構造改革」路線>

- ①改革の基本方針  
・日本経団連：自助、共助、公助のバランスをとりつつ、国民の負担で賄う社会保

障範囲をあきらかにする。給付の効率化、適正化を図る。社会保障費の安定的確保と財政健全化の同時達成。

- ・商工会：「公」に過度に依存することなく、個々人の自立を重視、「自助と共助」をベース。現行の社会保険方式を原則としながら不足する部分を公費負担で補う
- ・連合も含む4団体が、社会保障・税の共通番号制の導入を提言。

## ②一体改革の行方

- ・与謝野馨社会保障・税一体改革担当相は4月1日、東日本大震災の発生を受けた社会保障改革の検討のすすめ方について関係者と協議し、政府の「社会保障改革に関する集中検討会議」（議長＝菅直人首相）が開催できるようになるまでの間は、同会議の非公式会合を開いて関係者からのヒヤリングや論点の整理をつづけることを確認したと報道。

非公式会合では、地方3団体からのヒヤリング、学識有識者からのヒヤリング、厚生労働省の改革案の聴取などを行い、論点整理をすすめるとされ、この1日の協議では、震災の復旧・復興には膨大な費用がかかると見込まれることから、「財源の制約が厳しくなる。社会保障の重点化・効率化という観点を優先度の高い項目として整理する必要がある」などとする意見も出たと報道されている。

- ・与謝野馨社会保障・税一体改革担当相は4月19日「社会保障改革に関する集中検討会議・準備作業会合」での挨拶で「税と社会保障の一体改革は6月中に案として完成させる。その際には、税、社会保障ともに、復興のための財源問題と一体的に決めていかないといけない」と述べた。4月23日に最終会合を開き、27日に「集中検討会議」を再開する。
- ・「社会保障給付の重点化をより重視すべきだ」。4月1日の準備会合では、有識者から「選択と集中」を求める意見が相次いだ。税金の追加投入で年金や医療、介護を充実させるという当初の狙いは大震災で一定の修正を迫られる。今後は医療費抑制や年金水準の見直しなど給付をスリム化する改革に重点が移っていく可能性が高い（日経新聞、4月6日）

- ## ③この動きに合わせ、厚生労働省は5月中に「年金制度『改革』」案のとりまとめを進め、6月をメドに社会保障全体の「改革案」を示す。6月に税制「改革」案の策定。「社会保障・税番号」は、4月中に要綱を決定、6月に大綱を決定。「子ども・子育て新システム」も内閣府は、「今国会の法案提出を目指す」とし連休明け会議の再開を目指す。国保制度の基盤強化に関する国・地方の協議も集中検討会議への意見提出をめざしている。（しんぶん赤旗 4月25日）

- ## ④社会保障にお金はかけられないと、議論は効率化にシフト。抑制の柱に想定されるのは、医療と介護。社会保障サービスの利用時に支払う額を合算した総額に上限を設定。高額療養費制度の見直しや低所得者の上限見直しを検討。厚労省の改革案では、2015年に導入予定の「社会保障と税の共通番号制度」の定着後に、「利用者負担総合合算制度」（仮称）の導入を検討。（朝日 4月25日）

## <2011年度補正予算について>

- ### ①第1次補正予算（案）を28日に国会提出し、5月2日までに成立めざす

- ・東日本大震災の復旧対策費盛り込む→仮設住宅として借り上げ住宅10万戸など
- ・基礎年金の国庫負担を2分1に引き上げるための財源2.5兆円を臨時財源とする

- ### ②第2次補正予算（案）各党に提示

- ・財源は、国債とは別に「復興再生債」（仮称）を発行する。消費税率引き上げによ

る税収を一般会計から切り離した「震災復興基金」(仮称)で管理し、復興再生債の償還財源とする(4月19日読売新聞・朝)

- ・東日本大震災の被害額25兆円(内閣府試算)を消費税率3%引き上げ(約7・5兆円確保)の3年間で必要な支出の大半を賄える。
- ・玄葉国家戦略相「(税率引き上げ分の納税額を後から還付するなど)被災地への配慮は技術的には可能だと思う」、与謝野経済財政相「お金がどこから来てどこへでたのか明確にするためにも、別な会計にすることが必要だ」(4月19日読売新聞・夕)
- ・第1次補正予算として活用して穴が空いた年金財源は、「税制抜本改革により確保される財源を活用」

## 2) 原発事故対応

- ・汚染水の海洋投棄は、ロンドン条約違反→日本共産党の吉井英勝議員の質問に、官房長官「今後こうしたことないよう見直す」と。

## 3) 国保について →3項で論議

### 4) 介護保険改定へ

- ・3月11日の閣議決定した「介護保険改正案」を4月5日国会へ上程
- ・「介護保険も広域化を」→4月7日開催の政府の社会保障に関する集中検討会議の準備作業部会へ全国市長会・全国町村会が広域化に言及する資料を提出。
- ・東京の地域ケアを推進する会議報告書「東京の地域包括ケア～みんなでつくりだす365日24時間の安心～」

### 5) 障害者基本法の改正へ

- ・大詰めを迎えている改正作業に出された政府案は、「あまりにも不十分だ」と障害者から強い批判が

### 6) 公務員制度について

- ・公務員制度改革案を決定、給与や勤務時間などの労働条件を交渉で決める協約締結権を付与する一方、争議権付与は見送り
- ・新たな人事行政関係機関の設置
- ・国家公務員給与5%削減し、1500億円をねん出。補正予算で減額するとともに給与改正案を今国会に提出

### 7) 地域主権改革→今国会で成立する予定である。

**2、都知事選挙について、「都知事選結果についての会長談話」(ニュース5月号参照)を確認し、以下の今後の取り組みの柱を確認した。要請した内容の具体化の点検、独自の会派要請・局要請を強めることを確認した。**

#### 1) 東京都へ以下の要請行動を独自に実施

- ①防災対策、避難所や避難者への対応について
- ②「福祉のまちづくり」への具体的な提案も含めた要請
- ③国保への財政支援など

#### 2) 具体化について

- ①都知事への要請
- ②会派との懇談

③福祉保健局・総合防災担当課への要請・懇談

**3、国保改善の取り組みについて、4・28 地域社保協交流会へ以下の内容を提起し、取り組みを広げることを確認した。**

**1) 国保をめぐる情勢**

- ・値上げ通知情報は、23区（4月21日現在）では16区で区報に掲載されたが、扱いは区によって格差がある。
- ・6月末から7月にかけて国保被保険者世帯に通知が送られるため、多くの住民が値上げを知るのは選挙も6月議会も終わった後になる

**2) 当面の運動の重点**

- ①23区では6月議会にむけて、議会前に「旧ただし書き方式」への変更と国保料引上げの住民説明会を開催させる。同時に「我が家の保険料はいくらになるの？」の運動を展開する。中野区では5カ所・足立区では4カ所で実施。
- ②首長、議員に対して6月議会前に懇談・要請を行い、国民健康保険被保険者の実態と私たちの要求に訴える。
- ③請願・陳情については、9月議会を中心（可能な地域は6月議会）に住民運動を広げる。東京社保協として23区の統一請願書（区議会宛て請願）とチラシ作成を検討。多摩地域については、市町村ごとに状況が異なるので対応を当該社保協と協議。
- ④国保パンフの普及と合わせて、地域社保協での学習会を重視し、旺盛に展開する。
- ⑤6月都議会へ「東京都の財政支援を」の要請
  - ・福祉保健局との懇談
  - ・各党派との懇談、要請
- ⑥2011年アンケート活動の準備…昨年初めてだったので10程度の経年の数値も回答を求めたため、回答に時間がかかった。今年度は昨年の設定問を基本にし行う。

**4、「震災に負けるな！何でも相談会」の開催をすすめることを確認した。**

各地域での被災者の受け入れ状況を把握し、相談にのりながらネットワークづくりを。そのための相談会の開催を！現在の予定は、以下のとおり。

- 5月21日（土）13:30～16:00 赤羽駅東口広場 北区社保協・北区労連など  
7月 西東京社保協  
9月11日（日）14:00～16:00 北千住駅前 足立社保協  
11月6日（日）13:00～16:00 江東社保協

**5、第38回東京社保学校について、以下の内容を確認した。**

- 日時 7月2日（土） 10:00～16:30 10:00～12:00 講義①  
13:00～15:00 講義②  
15:00～16:00 行動提起・運動の交流

場所 けんせつプラザ東京

内容 講義①「防災のまちづくりへ」（仮題）

講義②福祉国家ビジョンの現代的意義－福祉国家財政の在り方を中心に－

講師：二宮厚美 神戸大学教授

○行動提起「国保改善など秋のたたかいについて」、運動の交流  
参加費 資料代を徴収する

## 6、国会行動について、中央社保協の行動に参加することを確認した。

1) 国民大運動実行委員会主催国会行動（各団体・地域の旗をもって参加を）

4月27日（水）12:15～13:00 衆議院第2議員会館前

5月18日（水）12:15～13:00 衆議院第2議員会館前

6月1日（水）12:15～13:00 衆議院第2議員会館前

6月15日（水）12:15～13:00 衆議院第2議員会館前

2) 中央社保協の行動に参加を！

4月27日（水）13:30～14:30 衆議院第1議員会館大会議室（300人定員）

5月18日（水）13:30～14:30 衆議院第2多目的会議室（141人定員）

6月15日（水）13:30～14:30 衆議院第1大会議室（300人定員）

## 7、要請事項について、下記の対応を確認した。

1) 東京商工団体連合会第65回定期総会→メッセージ

2) 「どうなるどうする介護保険」4月16日（土）13:00～17:00

於：千里文化センターコラボ第1講座室→紹介

3) 都教組第98回定期大会→メッセージ

4) 障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会 第38回総会→福井副会長

5) 「2011東京自治フォーラム」6月26日（日）シンポジスト→前沢事務局長

6) 映画「無言館」上映への協力：共同映画→各団体・地域へ紹介

7) 社保庁職員の不当解雇撤回のたたかいへの支援→伊藤請求人より訴えあり

8) 薬害イレッサ事件の全面解決を求める申入書→賛同

## 8、当面の日程について

### 4月

28日（木）18:00～地域社保協交流集会

30日（土）15:00～17:00 講演会「3.11後における対抗の現局面」渡辺治  
場所：全労連会館2階ホール 主催：福祉国家研究会

### 5月

1日（日）11:00～第82回中央メーデー

3日（火）13:30～2011年5・3憲法集会&銀座パレード 日比谷公会堂

9日（月）13:30～都民連世話人会

10日（火）18:30～2011自治フォーラム打ち合わせ

11日（水）14:00～第11回中央社保協運営委員会

12日（木）15:00～国保部会

13日（金）18:30～子どもを貧困と格差から守る連絡会議

17日（火）16:00～安心年金つくろう東京連絡会

## 20110428 第41期第5回常任幹事会報告

- 18日（水）13:30～国会要請行動  
19日（木）14:00～関東ブロック事務局長会議  
20日（金）18:00～九条の会・東京連絡会 大学習会「大震災・原発事故後の日本の行方と私たちの課題」講師：渡辺治さん  
26日（木）13:30～第6回常任幹事会  
18:30～シンポジウム「被災地から来た子どもとともに一学校を安全と安心の根拠地に」エデュカス東京 7階会議室  
主催：都教組・都障教組・「子どもを貧困から守る」連絡会  
28日（土）13:00～「2011介護フォーラム」於：ラパスホール  
13:00～「生存権裁判を支援する全国連絡会」第5回総会  
於：板橋区立文化会館  
14:10～シンポジウム  
「大災害からの復興と人間らしく生きる権利の保障を」

### 第6回常任幹事会について

- 日時 5月26日（木）13:30～16:00  
学習 「東日本大震災の支援活動に参加して（仮称）」  
場所 東京労働会館5階東京地評会議室